

岩手県東日本大震災津波復興委員会 第27回総合企画専門委員会の審議概要について

1 開催概要

- (1) 日時 令和2年9月15日(火) 14:00~15:30
- (2) 会場 サンセール盛岡1階 ダイヤモンド
- (3) 出席者 委員7名(うちリモート参加1名)[2名欠席](別添名簿のとおり)
- (4) 議事
- ① いわて復興レポート2020について
 - ② いわて県民計画(2019~2028)第1期アクションプラン「復興推進プラン」の見直しについて
- (5) その他
- 国における令和3年度以降の復興の取組について

2 審議結果の概要(主な発言内容)

(1) いわて復興レポート2020について

[小野寺委員]

- ・ 津波伝承館が来場20万人を達成したが、報道では、県内の小中学生が訪れているとのことで、内陸部の子ども達が沿岸に目を向けることは良いことだと思う。
- ・ 日本海溝・千島海溝の最大クラスの津波による浸水想定公表に関して、「現在整備中の海岸防潮堤で津波から人命や財産を守られるのではなかったのか」と思う人が多数いると思う。もともと最大級の津波が来た場合は、「財産は難しくても、人命だけは守る」という国や県の計画だったはずであり、現在整備中の防潮堤でも、避難が必要であるということを繰り返し丁寧に説明していくことが重要であると思う。

[高嶋委員]

- ・ 新型コロナの影響は今後2年間くらいは続くと考えられ、2年後を見据えて何をすべきか、成長の芽をつくることも考える必要がある。
- ・ 復興ウォッチャー調査の経済実感については、復興状況というよりも、景気後退など違う要素が影響していると思われるので、景況との関係性をよく分析する必要がある。

[谷藤委員]

- ・ 平成元年をピークに岩手県で企業誘致が進んだ。それはプラザ合意の円高により、東京から工場が押し出され、高速道路や工業団地が出来ていた岩手県が受け皿となっていたためである。現在、新型コロナウイルスの影響により、東京の人口吸引力が弱まっているので、これをチャンスと捉えることもできる。
- ・ 新型コロナで企業の売上げが落ちていても、今年度は公的支援が充実しているため、なんとかしのげると思う。問題は来年度で、公的支援が打ち切られたときに本当の窮地を迎える。
- ・ なりわいの再生では、復興の枠や、元に戻すだけという考えを超えて施策を考えていく必要があると思う。

[平山委員]

- ・ 先日大槌町で開催された「いわて復興未来塾」のフォーラムで、コメンテーターの^{かみたに}神谷さんから「三陸地域が一体となり子育て支援で支え合うことが必要」という地域間連携の意見が出た。市町村域を超えた、広域的な連携の必要性について、地域から声が出てきたことは、非常に嬉しく思う。

[南委員]

- ・ 復興の事業の進捗に伴い、進んでいない事業や取組がより際立ってきている。その原因等を分析して事業を進めるとともに、県民に広く伝わるように示していった方が良いと思う。中長期的課題に関し、「最後の一人まで取り残さない」という姿勢が伝わると良いと思う。
- ・ 震災学習について、県内の全ての子ども達が、一度は津波伝承館を訪れるなどの取組を進めてはどうか。

[菅野委員]

- ・ 水産業の不漁対策について、震災復興という枠組みは超えるが、水産業の復興がなければ三陸全体の震災復興は成り立たないと考えるため、県としてもより力を入れていただきたいと思う。

[齋藤委員長]

- ・ 新型コロナがあり、東京一極集中という考えが変わりつつある。地方で生活をしながら働くことが可能な形が出来始めており、いわば、「働き方改革」ならぬ、「生き方改革」ができるのではないかと思う。県北地域では、再生エネルギーで首都圏と連携する事例もあり、地方と首都圏がウィンウィンの関係となるような、お互いが協力し合うという新しい地方創生の仕組みを県としても考えていくのも良いと思う。

(2) いわて県民計画（2019～2028）第1期アクションプラン「復興推進プラン」の見直しについて

[谷藤委員]

- ・ 新たな事業の追加については、本日の委員会で出た問題意識を反映させて欲しいと思う。特に、「なりわい」については復興の枠組みを超えてやっていくことを検討して欲しいと思う。

[平山委員]

- ・ 基本的には賛成であるが、復興に関して、終われる事業については延ばさず、しっかりと終わらせることも重要であると考え。

(3) その他

[小野寺委員]

- ・ 復興からの10年という大きな区切りが、5年延びることにより、ぼやけてしまう印象がある。15年経った後に、これまでを振り返るより、この10年という区切りで、今までの取組（例えば復興交付金制度の評価など）の検証を行う必要があると思う。

岩手県東日本大震災津波復興委員会
第27回総合企画専門委員会出席者名簿

氏名	職名等	備考
齋藤 徳美	国立大学法人岩手大学 名誉教授	委員長
高嶋 裕一	公立大学法人岩手県立大学 総合政策学部長	副委員長
小野寺 徳雄	株式会社昭和土木設計 技師長	
菅野 信弘	北里大学 海洋生命科学部長兼三陸臨海教育研究センター長	リモート出席
谷藤 邦基	株式会社イーアールアイ 取締役	
中村 一郎	三陸鉄道株式会社 代表取締役社長	欠席
平山 健一	国立大学法人岩手大学 名誉教授	
広田 純一	国立大学法人岩手大学 名誉教授	欠席
南 正昭	国立大学法人岩手大学理工学部 教授	